

68 神はかくまで世を愛し

1. 神は世を愛されて 合唱

神は世を愛されて み子を私たちに送られた
イエスがわたしのために生まれたと信じる人は
み子とともに生きる永遠に生きる。
悲しみ嘆きは消え去る。
神とイエスを愛する者は。

2. 心のよろこび私の歌よ アリア ソプラノ

心の喜び わたしの歌よ 喜び歌え 主イエスはそばに
嘆きと悲しみは去れ そばにいるイエスだけを語ろう。

3. ペトロのように 朗唱 バス

ペトロのように慰める聖霊を迎え、
イエスが私をわすれないように、
主は世を裁くためではなく
神と人との間にたちとりなされた。

4. 主は私のために生まれ

アリア バス
主は私のために生まれたと
信じる心に憂いはない。
あなたが私をあがなわれたので、
地は砕け散っても
悪魔がせめてこようとも
私は主をあがめる。

5. イエスを信じる人はさばかれない 合唱

イエスを信じる人はさばかれない。
神のひとり子の名を信じない人は、
すでにさばかれています。

イエスが十字架の死を遂げて三日目によみがえり、
40日間、弟子たちに現れて
天に昇り、50日目に弟子たちに聖霊がくだり、弟子
たちは聖霊によってイエス
を自分のうちに宿し、イエスが共に生き、イエスと共
に生きる共同体・教会が誕生した。
この文脈のなかで、歌詞を読んでもいただければ幸いです。

今からすると「信じる人はさばかれない。信じない
人はさばかれています」という歌詞は
キリスト教原理主義とか排他性が強く感じられるかもし
れない。私はそう感じる一人です。

アメリカのルーテル教会が今年宗教改革500年を記
念してバツハに関する研究演奏・討論会をおこなって
いますが、歌詞の英訳は相当意識しています。その意
味で、現代にも通じる歌詞に挑戦しようかと思案して
います。そうしたがいいですが、まずは、なるべく
そのまま訳してみたらと思っています。